



ドライブレコーダー 取扱説明書

品番 CA-DRZ3TDZ

このたびは、純正用品 ドライブレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をお読みいただき、いつもお手元において、正しい取扱方法により、長くご愛用くださるようお願い申し上げます。



事故防止のため運転中は絶対に操作しないでください。

本機の故障、誤動作または不具合によりメモリーに記録できなかったデータ、消失したデータ、メモリー内の保存データについては補償できません。

事故が起こったときは

記録された録画データが上書きされないように、必ず microSD メモリーカードを取り出してください。

取り出すときは、必ず車のエンジンを切り (ACC OFF)、LED ランプが消灯した状態をご確認ください。

本製品は、前方・後方録画対応の別体型ナビ連動ドライブレコーダーです。操作は接続したナビゲーションで行います。画面表示や操作のしかたは、接続するナビゲーションによって異なる場合がありますので、接続したナビゲーションの取扱説明書もあわせてご覧ください。

本書について

- 製品の品番は、パナソニック品番で表記（末尾を一部省略）しています。
- 本書は、パナソニック製ナビゲーションCN-RZ853と接続した場合を例にして説明しています。
- 本書では、操作スイッチを下記のように描き分けています。

例) **ドライブレコーダー** : タッチキー (画面上のスイッチ)

MENU | **MAP** : ハードキー (ナビゲーション本体のボタンスイッチ)

お知らせ

- 製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 画像やイラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- URLは、予告なく変更になることがあります。

もくじ

安全上のご注意

安全上のご注意 3

はじめに

使用上のお願い..... 7

各部のなまえとはたらき 8

SD メモリーカードについて 10

使いかた

ドライブレコーダーの設定をする..... 12

常時録画 (動画)..... 14

駐車録画 (動画)..... 15

手動録画 (動画)・静止画撮影をする... 16

記録した動画・静止画を再生する..... 18

ファイルを移動・削除する 20

DR Video Viewer

パソコンアプリ DR Video Viewer とは... 22

アプリをインストールする 23

アプリを起動する..... 24

動画を再生する..... 24

必要なとき

取付確認と調整..... 26

故障かな!? 28

仕様..... 30

商標などについて..... 30

保証とアフターサービス 31

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき

警告

 **本機はDC12V \ominus アース車専用です**
DC24V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする
作業は手順どおりに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの \ominus 端子を外す
外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

作業後は、車の電装品*の動作確認をする
正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。
* ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど

カメラは、保安基準に従って取り付ける
視界不良による事故の原因となります。

取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

取り付けや配線をするとき



警告



本体を車体から取り外す場合は、貼付面の四隅を持つ

本体部や可動部を持ってはがそうとすると、本機が破損するおそれがあります。



視界や運転を妨げる場所*、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない

交通事故やけがの原因となります。

*ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近・ハザードスイッチなど

車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしない

カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。

車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、車の保安部品*を使わない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

*ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

コードを破損しない

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように配線してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。



分解や改造をしない

交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

- 分解禁止
- コードの被覆を切って他の機器の電源をとるのは、絶対におやめください。
 - アースコードの改造や、他の機器とのアース接続は絶対におやめください。

取り付けや配線をするとき



注意

**必ず、付属品や指定の部品を使用する**

機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

しっかり確実に取り付ける

走行中の脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となります。

取り付ける場所の水気や汚れ（ほこりや油など）は、取り除いてください。

取り付けの状態（接着やねじのゆるみなど）を、ときどき点検してください。

板金やエッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

安全上のご注意 必ずお守りください

ご使用になるとき

警告



**ドライブレコーダー本体の温度を確認してから、
角度調整やmicroSDメモリーカードの抜き差しをする**
高温環境での放置（直射日光などが長時間あたっていた場合）や連続使用した
場合などは、高温になりやけどをするおそれがあります。



運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視しない
必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。
交通事故の原因となります。

故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異常（異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・
異臭がするなど）が起きた場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店に
ご相談ください。事故や火災、感電の原因となります。お客様による修理は、絶対
におやめください。

microSDHCメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに
医師にご相談ください。

機器内部に、水や異物を入れない

特に、傘による雨水や、飲み物などがかからないようご注意ください。
水や、湿気・ほこり・油煙、金属物や燃えやすいものなどが機器内部に入ると、
動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。

通電中のドライブレコーダー本体に長時間直接触れて使用しない
低温やけどの原因になることがあります。

注意



本機を車載用以外には、使用しない
発煙や発火、感電、けがの原因となります。

落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない
故障や火災の原因となります。

使用上のお願

ドライブレコーダーは、車種ごとに最適な位置と角度に調整して設置されています。お客様ご自身での調整はおやめください。不用意に角度を変更すると、破損したり、ブザーが鳴り続ける場合があります。

- 必ずドライブレコーダー本体にmicroSDメモリーカードを挿入してご使用ください。
 - ※付属のmicroSDHCメモリーカード、またはドライブレコーダー用として別売設定されているmicroSDHCメモリーカードをご使用ください。(P.10)
 - ※microSDメモリーカードの初期化を促すメッセージが表示されたときは、本機で初期化してください。(SDカードの初期化→P.12)
- 車のエンジンをかけた直後(ACC ON)やエンジンを切った直後(ACC OFF)は、本機が動作しない場合がありますが、しばらく経つと動作を開始します。
- 推奨動作温度(-20℃～+65℃)の範囲外で使用すると、正常に動作しなかったり、録画を停止したりする場合がありますので、推奨動作温度の範囲でご使用ください。
- 夜間のナビゲーション画面の光、ダッシュボードに反射した太陽光などがガラスに反射し、映像に映り込む場合があります。
- LED式信号機は、目に見えない速さで点滅しています。点滅または消灯しているように見える状態で記録される場合がありますが、当社は一切の責任を負いません。状態が判別できないときは、前後の映像や周辺の車両の状態などから状況を判断してください。
- すべての状況において映像の品質や記録を保証するものではありません。
- 録画した映像は、事故などの証拠としての効力を保証するものではありません。
- microSDメモリーカードを挿入した状態で、本機を譲渡または処分するときは、プライバシー保護のため、保存された記録データをすべて削除してください。(SDカードの初期化→P.12)
- 駐車録画するように設定されている場合、本機は車のエンジンを切った状態でも微量の電力を消費します。バッテリーの消耗にご注意ください。
また、バッテリー保護のため、バッテリー電圧が低い状態では、「駐車録画」の機能を自動的に停止する場合があります。

著作権などについて

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 撮影した映像や画像は、個人で使用する以外は、権利者に無断で使用できません。個人使用目的でも撮影が制限されている場合があります。
- 本機を利用して、本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律・条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。

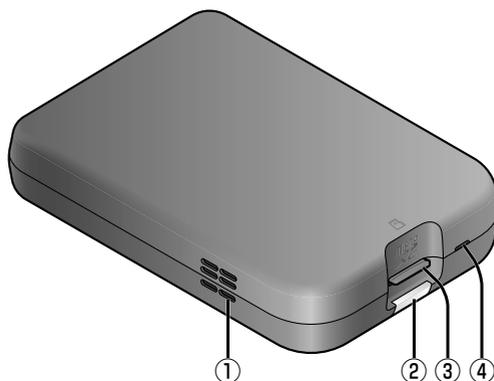
免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 次の場合、補償はできません。
 - ・誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
 - ・誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどにmicroSDメモリーカードに記録されていたファイルが変化・消失した場合

各部のなまえとはたらき

ドライブレコーダー本体

電源ボタンはありません。車のエンジンをかけると電源が入り、自動的に録画を開始します。



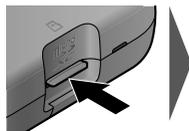
①	スピーカー	● 起動時や急加速・急減速情報を記録したときなどにブザーが鳴ります。
②	LEDランプ	● 本機の状態がLEDで案内されます。 ・点灯(緑色): 録画中 ・点滅(緑色): 録画停止中 ・点灯(赤色): microSDメモリーカードが未挿入または異常状態 ・点滅(赤色): 本機が異常状態 ・点灯(橙色): 取付調整が未調整または異常状態
③	microSDメモリーカード挿入口	● 映像・音声を記録するmicroSDメモリーカードを挿入します。
④	マイク	● 動画録画時に、音声を録音します。

● 付属のmicroSD-SDアダプターは、パソコンなどで使用するときに必要に応じてご使用ください。

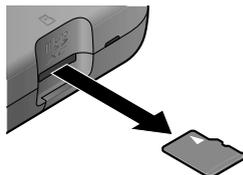
microSDメモリーカードの出し入れ

必ず車のエンジンを切り(ACC OFF)、LEDランプが消灯した状態で出し入れをしてください。

取り出しかた

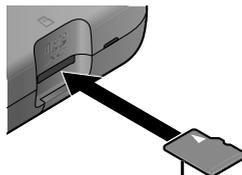


中央部を押す



取り出す

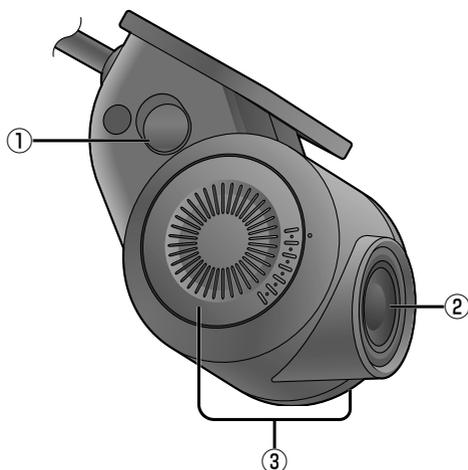
挿入のしかた



カチッと音がするまで
まっすぐに差し込む

端子側を下に

フロントカメラ/リヤカメラ



①	ロックボタン	●上下の角度を固定します。 ※調整するときは、必ずロックを解除し(ロックボタンを上げる)、調整を終えた後、必ず固定してください(ロックボタンを下げる)。
②	レンズ	●動画録画・静止画撮影に用います。 少ない光量でも録画・撮影ができます。
③	ダイヤル	●上下の角度を調整するときに操作します。 調整範囲: 0° ~ 60° (5°ステップ)

お願い

- カメラのレンズを手で触らないでください。

SDメモリーカードについて

使用できるSDメモリーカード

- microSDXCメモリーカード (Class10 以上の64 GB ~ 128 GB) *1*2
- microSDHCメモリーカード (Class10 以上の8 GB ~ 32 GB) *1*3

*1 SD規格準拠カードのみ使用できます。

*2 容量が256 GB以上のmicroSDXCメモリーカードは使用できません。

*3 容量が4 GB以下のmicroSDメモリーカードは使用できません。

※本書では、上記のメモリーカードを「microSDメモリーカード」と表記しています。

※ドライブレコーダーに付属のmicroSDHCメモリーカード、またはドライブレコーダー用として別売設定されているmicroSDHCメモリーカードを使用することをおすすめします。

お願い

- microSDメモリーカードの初期化を促すメッセージが表示されたときは、本機で初期化してください。(SDカードの初期化→P.12)

※他の方法で初期化(フォーマット)しないでください。

- microSDメモリーカードをパソコンなどで読み込むときに、microSDメモリーカード内にドライブレコーダー用の管理ファイルが表示される場合がありますが、これらのファイルの移動や削除、ファイル名の変更などはしないでください。

お知らせ

- 規格に準拠したmicroSDメモリーカードでも、本機では使用できない場合があります。

取り扱いについて

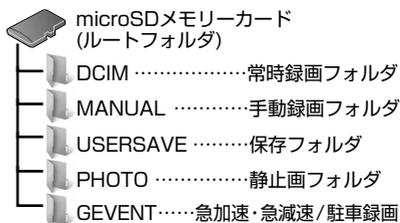
- データの読み書き(録画や再生、初期化など)をしているときに、microSDメモリーカードを取り出さないでください。
- microSDメモリーカードの初期化中に車のエンジンを切らないでください。
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 長時間使用すると、microSDメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- microSDメモリーカードが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- microSDメモリーカードの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
- microSDメモリーカードにシールやラベルを貼り付けしないでください。
- microSDメモリーカードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや削除などができなくなる場合があります。特にドライブレコーダーでの使用は、不良セクター*1などが発生しやすく、平均寿命より短くなる場合があります。ナビゲーションの起動時などに、microSDメモリーカードの初期化や交換を促すメッセージが表示されたら、メッセージに従って初期化または新しいmicroSDメモリーカード*2に交換することをおすすめします。

*1 長期間の使用でメモリーが損傷し、データを保存できなくなった領域

*2 ドライブレコーダー用として別売設定されているmicroSDHCメモリーカード

記録データが保存される階層について

本機で録画された動画および撮影された静止画は、microSDメモリーカードに右記の階層で保存されます。



お願い

- microSDメモリーカード内のフォルダ・ファイルの名称は、変更しないでください。

記録できるファイル数について

手動録画/保存データ/静止画/急加速・急減速/駐車録画ファイルは、microSDメモリーカードの容量に応じて、記録できるファイル数が異なります。

常時録画ファイルは、これらのファイルを除いた空き領域に記録され、空き領域がなくなると古いファイルから順に自動削除されます。

他のファイルは、microSDメモリーカードの容量に応じて、記録できるファイル数が下記のとおり異なります。

容量	8 GB	16 GB (付属)	32 GB	64 GB	128 GB
ファイルの種類					
手動録画* ¹	15	30	60	120	240
保存データ* ¹	15	30	60	120	240
静止画* ¹	300	300	300	300	300
急加速・急減速/駐車録画* ²	15	30	60	120	240

*¹ ファイル数が上限に達すると、それ以上記録できません。

*² ファイル数が上限に達すると、古いデータから順に自動削除されます。

最大録画時間について

録画できる時間やファイルサイズは、画質の設定によって異なります。

また、撮影状況によっても変化します。

画質	解像度* ¹	フレームレート	ファイルサイズ	最大録画時間* ³
高画質	1 920 × 1 080 前後	28 fps* ²	約85 MB/1分	約180分
標準	1 920 × 1 080 前後	14 fps	約48 MB/1分	約320分

*¹ 手動撮影(静止画)の場合、設定した画質の解像度でJPEGとして記録されます。

*² 駐車録画の場合、14 fpsで記録されます。この場合のファイルサイズは約62 MB/1分です。

*³ 付属のmicroSDHCメモリーカード(16 GB)を使用した場合

ドライブレコーダーの設定をする

1 ナビゲーションの **MENU** を押す

2 情報・設定 を選ぶ

● ツートップメニュー



3 情報 を選ぶ

● 情報・設定メニュー



4 ドライブレコーダー を選ぶ

● 情報メニュー



5 設定 を選ぶ

- 録画を停止します。

● ドライブレコーダー画面



6 ドライブレコーダー 設定画面から各項目 を設定する (右記)



- で設定画面が切り替わります。

項目	
画質	
音声録音	
動画情報表示	<ul style="list-style-type: none"> 急加速・急減速 駐車録画 事故多発地点 合流地点 急カーブ
急加速・急減速の感度	
急加速・急減速の感知音	
起動音	
取付調整	
SDカードの初期化	
設定初期化	
駐車録画	
駐車録画のお知らせ	
駐車録画の感度	
駐車録画の時間	
駐車録画の無効時間	
ドライブレコーダー警告音量	
ドライブレコーダータイプ	

設定内容/操作	
「高画質」: 高画質で記録する 「標準」: 標準の画質で記録する	
「する」: 録画中、音声を録音する 「しない」: 録画中、音声を録音しない	
記録ファイル再生中の動画情報表示について、「する/しない」を設定します。 ● 選ぶごとに、ON (する)/OFF (しない) が切り換わります。	
急加速・急減速した場合で、動画情報を表示「する」(ON) / 「しない」(OFF)	
駐車録画した地点で、動画情報を表示「する」(ON) / 「しない」(OFF)	
事故多発地点で、動画情報を表示「する」(ON) / 「しない」(OFF)	
合流地点で、動画情報を表示「する」(ON) / 「しない」(OFF)	
急カーブで、動画情報を表示「する」(ON) / 「しない」(OFF)	
— / + で、急加速・急減速の測定感度を調整する [調整範囲: 1 (低感度) ~ 3 ~ 5 (高感度)]	
「する」: 急加速・急減速を感知すると、ブザーを鳴らす 「しない」: 急加速・急減速を感知しても、ブザーを鳴らさない	
「する」: 本機の電源が入ると、ブザーを鳴らす 「しない」: 本機の電源が入っても、ブザーを鳴らさない	
調整する : 本機の加速度センサーを最適化する (P.27)	
初期化する : 本機で使用している microSD メモリーカードを初期化し、おおよその寿命などの管理ができる状態にする (メモリーカード内のすべてのファイルが削除されます。) ※ microSD メモリーカードの初期化を促すメッセージが表示されたときや、microSD メモリーカードを交換したときなどに行ってください。 ※ 付属の microSDHC メモリーカードを初期化すると、収録されているパソコンアプリ「DR Video Viewer」のインストーラーも削除されます。	
初期化する : 本機の設定をお買い上げ時の状態に戻す (録画・撮影された記録ファイルは削除されません。)	
「する」: 駐車中に振動を感知すると、自動で録画する 「しない」: 駐車中、録画しない	
「する」: ACC ON 後に駐車中録画があったことを、メッセージ表示でお知らせする 「しない」: メッセージ表示をしない	
— / + で、振動を感知する感度を調整する [調整範囲: 1 (低感度) ~ 3 ~ 5 (高感度)]	
駐車録画の記録時間を設定する [調整範囲: 10 秒 / 30 秒 / 1 分]	
駐車録画モードになるまでの時間を設定する [調整範囲: 1 分 / 3 分 / 5 分] ● ACC OFF 後、駐車録画モードになるまでは、振動を感知しても録画は開始されません。	
本機の音量を設定する [調整範囲: 1 ~ 3 ~ 5]	
通常は、この操作は必要ありません。販売店が行います。	
「前のみ」: 前方にのみカメラがある場合に選択する 「前後」: 前後にカメラがある場合に選択する	
※ ナビゲーションによっては、「前後」に設定できない場合があります。	

常時録画(動画)

本機の電源が入ると、自動的に録画を開始し、1分ごとに記録ファイルをmicroSDメモリーカードへ保存します。

- 常時録画を開始すると、ドライブレコーダー本体のLEDランプが緑色に点灯します。
- ドライブレコーダータイプ(P.12)が「前後」に設定されている場合は、後方の映像も録画されます。

microSDメモリーカードの空き容量がなくなると、常時録画ファイルが古い順に自動削除され、繰り返し保存し続けます。

- 手動録画した記録ファイル(P.16)、保存フォルダに移動した記録ファイル(P.20)は、自動削除されません。
- 常時録画で記録された、急加速・急減速情報のあるファイルは、通常は自動削除されません。ただし、microSDメモリーカードの空き容量がない状態で、新たに急加速・急減速情報のある映像を記録した場合は、古い急加速・急減速情報のある記録ファイルが自動削除される場合があります。
- 残しておきたい記録ファイルは、保存フォルダへ移動させてください。(P.20)

■ ドライブレコーダーの動作状態表示

ナビゲーションの地図画面(情報バー)に表示されます。



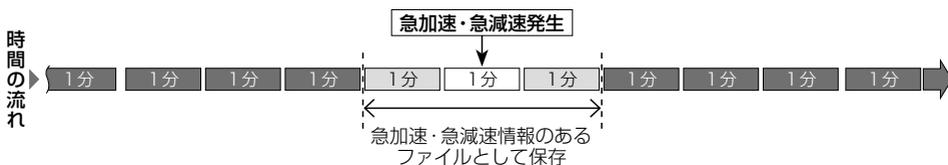
ダイレクトボタン(P.16)

-  : 常時録画中(緑色)
-  : 手動録画中(赤色)
-  : 録画停止中

■ 常時録画中に急加速・急減速を感知すると

急加速・急減速の感知の前後に録画された記録ファイルが、急加速・急減速情報のあるファイルとして記録されます。

- 通常は自動削除されませんが、ファイル数が上限に達すると古い順に自動削除されます。(P.11)



お知らせ

- シフトレバーの操作やグローブボックスの開閉をしたとき、または走行中に路面の段差を越えたときなどに、これらの衝撃を、急減速・急加速として感知する場合があります。「急加速・急減速の感度」を低感度に調整すると、これらの衝撃を急加速・急減速として感知しなくなる場合があります。(P.12)

駐車録画(動画)

駐車中(ACC OFF中)に車両に他の車が当たったり、いたずらなどの振動を感知すると、自動で録画を開始します。

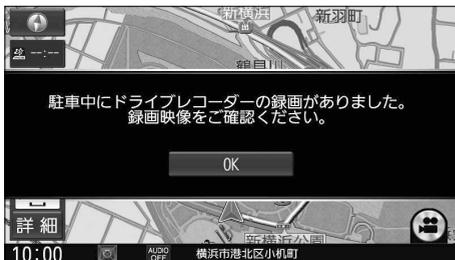
- 駐車録画を「する」に設定してください。(P.12)
- ドライブレコーダータイプ(P.12)が「前後」に設定されている場合は、後方の映像も録画されます。

お知らせ

- 「駐車録画」(P.12)が「する」に設定されている場合、ドライブレコーダーは車のエンジンを切った状態でも微量の電力を消費します。バッテリーの消耗にご注意ください。また、バッテリー保護のため、バッテリー電圧が低い状態では、「駐車録画」の機能を自動的に停止する場合があります。
- 「駐車録画の無効時間」(P.12)が短い場合、車のエンジンを切ってから(ACC OFF)降車、荷物の出し入れなどを行うと、振動を感知して録画が開始される場合があります。そのときは、「駐車録画の無効時間」を長めに設定してください。
(「駐車録画の無効時間」の間は、振動を感知しても録画を開始しません。)
- 振動が小さい場合には、振動を感知できない場合があります。振動を感知する感度は、調整することができます。(P.12)

■ 駐車中に駐車録画があったときは

車のエンジンをかけたとき(ACC ON)、駐車録画があったことをお知らせする画面が表示されます。(駐車録画のお知らせを「する」に設定した場合→P.12)



手動録画(動画)・静止画撮影をする

ナビゲーションの地図画面に表示される「ダイレクトボタン」に割り当てる機能を設定してください。
[お買い上げ時の設定：ドライブレコーダー動画録画]

- ナビゲーションのランチャーメニューにダイレクトボタンの機能を割り当てることもできます。
- ドライブレコーダータイプ(P.12)が「前後」に設定されている場合は、後方の映像も録画／撮影されます。

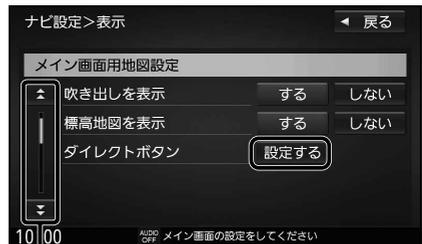
ダイレクトボタンを設定する

1 情報・設定メニュー(P.12)から **ナビ設定** を選ぶ

2 **表示** を選ぶ



3 ダイレクトボタンの **設定する** を選ぶ



スクロールして項目を表示させる

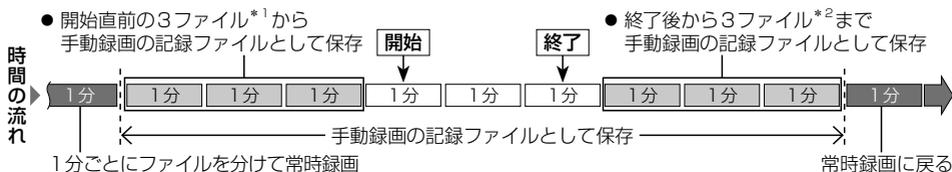
4 **ダイレクトボタン**に割り当てる機能を選ぶ

- **ドライブレコーダー動画録画**
動画録画を手動で行うタッチキーを表示する
- **ドライブレコーダー静止画撮影**
静止画を撮影するタッチキーを表示する
- **表示しない**
ダイレクトボタンを表示しない



手動録画(動画)

手動録画すると、手動録画の開始直前と終了後の常時録画のファイルが、手動録画の記録ファイルに置き換わります。手動録画の記録ファイルは自動削除されません。



* 1 ドライブレコーダータイプが「前のみ」のときは、開始直前の1ファイルから保存

* 2 ドライブレコーダータイプが「前のみ」のときは、終了後から1ファイルまで保存

準備

- 「ダイレクトボタン」を「ドライブレコーダー動画録画」に設定してください。(P.16)

地図画面で

 をタッチする

- 動画の録画を開始します。



2分後に、自動的に録画を停止します。

- 手で録画を終了させるには

地図画面で

 をタッチする

- 動画の録画を停止します。



静止画撮影

準備

- 「ダイレクトボタン」を「ドライブレコーダー静止画撮影」に設定してください。(P.16)

地図画面で

 をタッチする

- タッチした瞬間の静止画が撮影されます。



記録した動画・静止画を再生する

走行中は再生できません。
安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。

1 ドライブレコーダー画面 (P.12) から再生を選ぶ

- 録画を停止します。

2 ドライブレコーダー再生リストからファイルを選び、再生を選ぶ 動画/静止画を切り換える



全表示 :

すべての動画ファイル (常時録画・
駐車録画・手動録画) のリストを表示

手動録画 :

手動録画の動画ファイルのみのリスト
を表示

ファイルリスト



「保存フォルダ」(P.20)に保存された
動画ファイルのリストを表示

記録された動画情報をマークで表示

: 手動録画された

: 駐車録画された

: 急加速・急減速情報がある

: 事故多発地点情報がある

: 合流地点情報がある

: 急カーブ情報がある

記録年月日・時刻

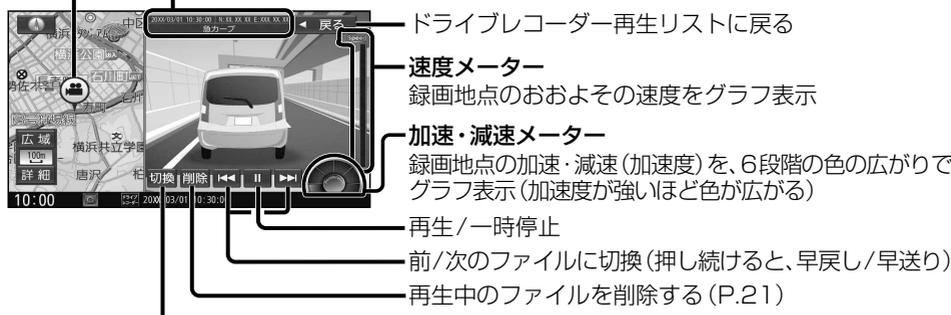
: ページごとに切換

: 1時間ごとに切換

選んだファイルの再生を開始します。(P.19)

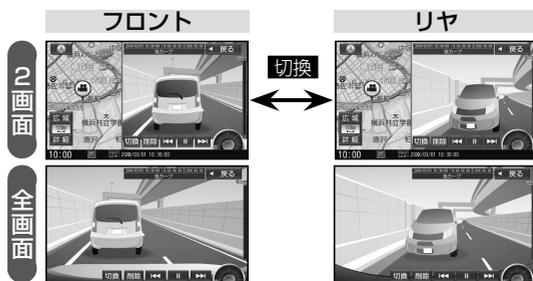
動画再生画面

録画した地点 録画日時/位置情報/動画情報



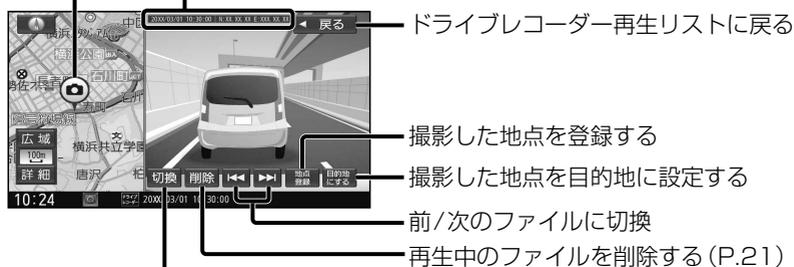
動画切替

- **切替** をタッチすることにより、フロント/リヤが切り換わります。
- 2画面で再生中に動画(右画面)をタッチすると、全画面で動画を表示します。再度タッチすると、2画面に戻ります。



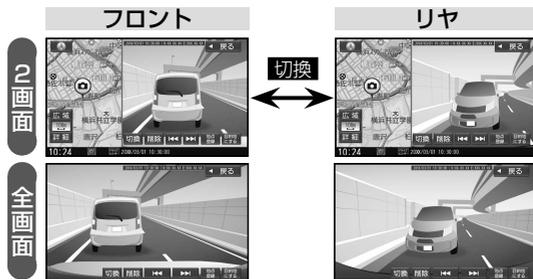
静止画再生画面

撮影した地点 撮影日時/位置情報



静止画切替

- **切替** をタッチすることにより、フロント/リヤが切り換わります。
- 2画面で再生中に静止画(右画面)をタッチすると、全画面で静止画を表示します。再度タッチすると、2画面に戻ります。



使いかた

記録した動画・静止画を再生する

ファイルを移動・削除する

ファイルを保存フォルダへ移動する

保存フォルダに保存されたファイルは、自動削除されません。
残しておきたい記録ファイルは、保存フォルダへ移動させてください。

- 1 ドライブレコーダー再生リスト(P.18)から移動させたいファイルを選び、**保存**を選ぶ

- 2 **はい** ▶ **OK**を選ぶ

- 選んだファイルが保存フォルダ(P.11)へ移動されます。



ファイルを削除する

再生中のファイルを削除する

- 1 ドライブレコーダー再生リスト(P.18)から削除したいファイルを選び、**再生**を選ぶ



- 2 動画再生画面/静止画再生画面(P.19)から**削除**を選ぶ



- 3 **はい**を選ぶ
● 選んだファイルが削除されます。

フォルダ内のファイルを全て削除する

- 1 ドライブレコーダー再生リスト(P.18)から削除したいフォルダのリストを表示させ、**全削除**を選ぶ



- 2 **はい**を選ぶ
● 選んだフォルダ内の全ファイルが削除されます。

お知らせ

- ファイルを削除すると、動画/静止画は前後両方とも削除されます。どちらか一方のみを削除することはできません。

パソコンアプリDR Video Viewerとは

本機で録画した動画は、付属のパソコンアプリDR Video Viewerを使ってパソコンで再生できます。

DR Video Viewerのインストーラーは、付属のmicroSDHCメモリーカード(ドライブレコーダー本体に挿入済)に収録されています。

パソコンにDR Video Viewerをインストールしてお使いください。(P.23)

- DR Video Viewerのインストーラーは、万が一に備えてパソコンにバックアップをとっておくことをおすすめします。DR Video Viewerフォルダと、その中に格納されているすべてのファイルおよびフォルダをバックアップしてください。
- 付属のmicroSDメモリーカードを初期化すると、収録されているDR Video Viewerのインストーラーも消去されます。

DR Video Viewerのインストーラーは、Webサイトからもダウンロードできます。

付属のmicroSDHCメモリーカードからインストーラーを削除した場合は、Webサイトからインストーラーをダウンロードしてください。

<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

- DR Video Viewerの機能やデザインは、バージョンアップによって変更される場合があります。

推奨環境

- Microsoft® Windows® 8.1/10のいずれかを搭載していること
- 本機で動画の録画に使用したmicroSDメモリーカードを読み込めること
※必要に応じて、本機に付属のカードアダプターをご使用ください。

お願い

- microSDメモリーカードをパソコンで読み込むときに、microSDメモリーカード内にドライブレコーダー用の管理ファイルが表示される場合がありますが、これらのファイルの移動や削除、ファイル名の変更などはしないでください。

お知らせ

- 本書ではバージョン1.0.X.XのDR Video Viewerについて説明しています。
- 本機で撮影した静止画は、DR Video Viewerでは再生できません。
OS標準の静止画ビューアーなどを使用して再生してください。

アプリをインストールする

パソコン画面はWindows® 10の画面を例に説明しています。

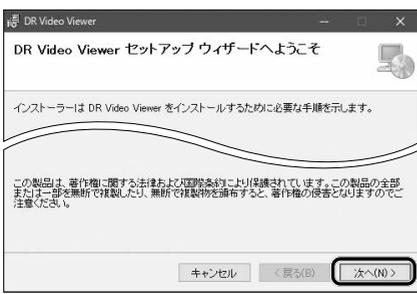
1 付属のmicroSDHCメモリーカードをドライブレコーダーから取り出し、パソコンに挿入する

- microSDメモリーカードの取り出しかた→P.8

2 microSDHCメモリーカード内の「DR Video Viewer」フォルダから、「setup.exe」(右記)をダブルクリックする



3 「次へ(N)>」をクリックする

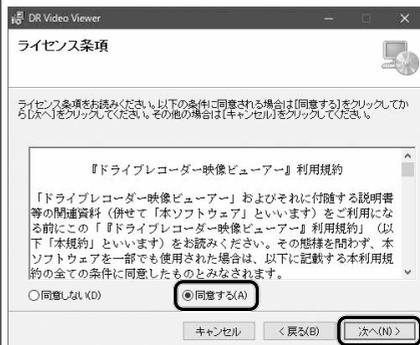


4 インストール先を確認し、「次へ(N)>」をクリックする

- インストール先を変更する場合は、「参照(R)...」を選び、インストール先を変更してください。



5 DR Video Viewerのライセンス条項をお読みにになり、「同意する」をチェックのうえ、「次へ(N)>」をクリックする



- 「同意しない」をチェックすると、インストールを終了します。

6 「次へ(N)>」をクリックする

- インストールを開始します。
- ダイアログボックスが表示された場合は、「はい」を選んでください。



7 「閉じる(C)」をクリックする

- インストールが完了します。



- デスクトップにショートカットが作られます。

お願い

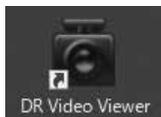
- Windowsが最新でないと、正しくインストールされない場合があります。その場合は、Windows UpdateによりWindowsを最新の状態に更新してください。

お知らせ

- DR Video Viewerのインストーラーは、Webサイトからもダウンロードできます。付属のmicroSDHCメモリーカードからインストーラーを削除した場合は、Webサイトからインストーラーをダウンロードしてください。 <https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

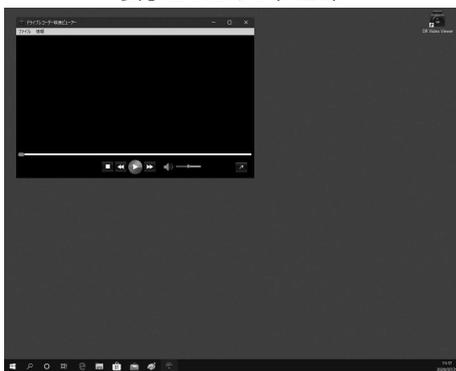
アプリを起動する

DR Video Viewerのアイコン(下記)をダブルクリックする



- 初めてアプリを起動したときは、使用許諾を確認する画面が表示されます。内容をよくお読みになり、**OK**をクリックしてください。

DR Video Viewer 動画再生画面が表示されます。(P.25)



動画を再生する

1 DR Video Viewer 動画再生画面で「ファイル」メニューを選ぶ

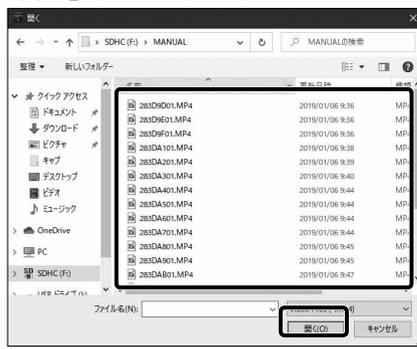


2 「開く」をクリックする



- 「ファイル」メニューから「終了」をクリックすると、DR Video Viewerが終了します。

3 動画ファイルを選び、「開く」をクリックする



選んだ動画ファイルが、DR Video Viewer 動画再生画面 (P.25) で再生されます。

■DR Video Viewer 動画再生画面

動画再生時間を表示

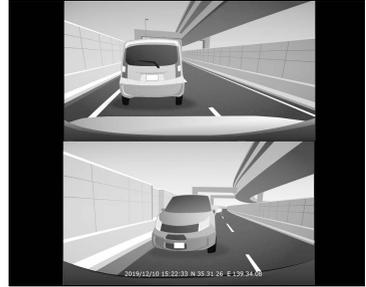
- 左右にスライドすると、再生位置を移動できます。

情報エリア

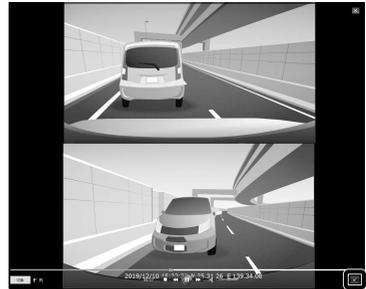
- 再生ファイル名、撮影日時、撮影場所、撮影種別が表示されます。

動画再生エリア

全画面表示に切換



画面下部にマウスポインターを移動させると、操作ボタンが表示されます。一定の時間何も操作しないと、操作ボタンは消去されます。



- クリックすると、ウィンドウ表示に切り換わります。

再生時間
左右にスライドして音量を調整する

停止 再生/一時停止

前/次のファイルに切換 (押し続けると、早戻し/早送り)

再生中の動画の種類を表示

F R : フロント・リヤ

F : フロント

R : リヤ

動画切換

- フロント・リヤの動画が録画されている場合に切り換わります。
- 切換** をクリックすることにより、画面が切り換わります。

フロント・リヤ

フロント

リヤ



取付確認と調整

通常は、この操作は必要ありません。
(販売店が行う確認です)

カメラの取り付けを確認する

- 1 情報メニュー(P.12)から
拡張ユニット情報を選ぶ



- 2 拡張ユニット情報画面から
ドライブレコーダーがON表示に
なっていることを確認する
- ドライブレコーダーがON表示にならない場合は、取付・配線を確認してください。



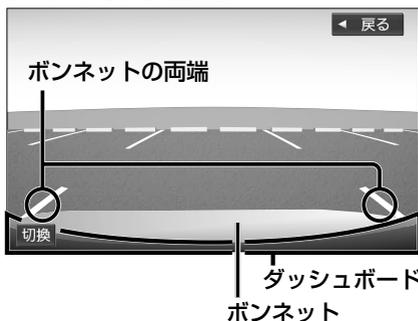
カメラの映像を確認する

- 1 ドライブレコーダー画面(P.12)から
カメラモニターを選ぶ
- フロントカメラの映像が表示されます。

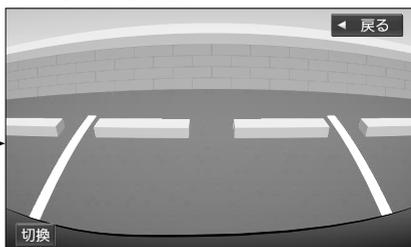


- 2 映像が正しく映し出されていることを確認する

フロントカメラの映像



リアカメラの映像



- 映像が正しく表示されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

加速度センサーを最適化する

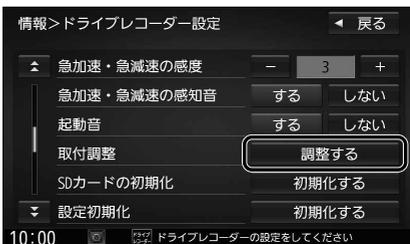
取り付け後、初めてお使いになる前や、走行中に急加速・急減速をお知らせするブザーが頻繁に鳴ったり、ブザーが鳴り続ける(ピピピ…短く8回)場合は、加速度センサーの最適化を正しく行ってください。

最適化されないまま使用すると、加速度センサーが正しく動作せず、急加速・急減速の録画や駐車録画が正しく行われないおそれがあります。

※必ずドライブレコーダー本体にmicroSDメモリーカードが挿入された状態で行ってください。

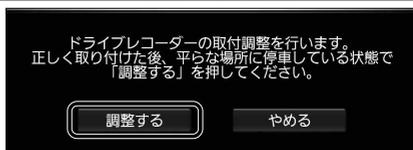
1 水平で平らな振動の少ない場所に停車する

2 ドライブレコーダー設定画面(P.12)から 調整するを選ぶ(取付調整)



3 メッセージが表示されたら、 調整するを選ぶ

- 最適化を開始します。
- 最適化を完了して、メッセージが表示されるまで、車のエンジンを切らない(ACC OFFにしない)でください。



4 メッセージが表示されたら、 OKを選ぶ



5 現在地画面を表示させ、本機の動作状態が「常時録画中」であることを確認する(P.14)

故障かな!?

修理を依頼される前に、まずは次の内容をご確認ください。
 処置をしても改善されないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

内 容		ページ
動 作	本機の電源が入らない(LEDランプが点灯しない)	
	車のエンジンがかかっていない。 ● エンジンをかけて (ACC を ON にして) ください。	—
	本機や microSD メモリーカードが温くなる	
	長時間使用している。 ● 正常に機能している場合は、故障ではありません。	—
	走行中、頻繁に急加減速を知らせるブザーが鳴る／ブザーが鳴り続ける(ピピピ…短く8回)	
	本機の加速度センサーが最適化されていない。 ● 加速度センサーを最適化してください。	27
	事故などが発生していないのに、ブザーが鳴る	
	シフトレバーの操作やグローブボックスの開閉をしたとき、または走行中に路面の段差を越えたときなどに、これらの衝撃を急加速・急減速として感知し、感知音(ブザー)を鳴らすことがあります。故障ではありません。 ● 「急加速・急減速の感度」を低感度に調整すると、これらの衝撃を急加速・急減速として感知しなくなる場合があります。	12
	● 感知音(ブザー)が頻繁に鳴るときは「急加速・急減速の感知音」を「しない」に設定すると、急加速・急減速を感知しても感知音(ブザー)を鳴らさなくなります。	12
	ドライブレコーダー本体の加速度センサーが最適化されない	
	ドライブレコーダー本体から microSD メモリーカードが抜かれた状態で加速度センサーを最適化しようとした。 ● microSD メモリーカードが抜かれた状態では最適化できません。 水平で平らな振動の少ない場所に停車し、ドライブレコーダー本体に microSD メモリーカードを入れて加速度センサーを最適化してください。	8、27
	録画できない、または録画した映像が正しく表示されない	
	ドライブレコーダー本体に microSD メモリーカードが挿入されていない。 ● ドライブレコーダー本体に microSD メモリーカードを挿入してください。	8
	記録できるファイル数の上限に達している。(録画できない場合) ● 手動録画の記録ファイルや保存フォルダ内の記録ファイルなどを削除してください。(削除したくない記録ファイルは、パソコンなどにコピーしてください。)	21
	microSD メモリーカードを初期化していない、または本機以外(パソコンなど)で初期化した。 ● 本機で初期化してください。	12
microSD メモリーカードを長期間使用している。 ● microSD メモリーカードには寿命があります。 新しい microSD メモリーカード(ドライブレコーダー用として別売設定されている microSD メモリーカード)に交換してください。	—	
録画や再生、初期化中に microSD メモリーカードを取り出した。 ● 初期化中だった場合には、再度本機で初期化してください。 ● 正しく動作しないときは、microSD メモリーカードが損傷している場合があります。 新しい microSD メモリーカード(ドライブレコーダー用として別売設定されている microSD メモリーカード)に交換してください。	12	
ドライブレコーダーの設定画面や再生画面を表示している。(録画できない場合) ● ドライブレコーダーの設定画面や再生画面では、録画を停止します。 地図画面やドライブレコーダー以外のモードを表示してください。	—	

		内 容	ページ
動 作	記録ファイルが消えている		
		常時録画の場合、古い記録ファイルから順に自動的に削除されるため、連続して記録されない場合があります。 ●残したい記録ファイルは、保存フォルダへ移動してください。	20
	常時録画の記録時間が短い		
		手動録画/保存データ/静止画/急加速・急減速/駐車録画ファイルが保存されている。 ●これらのファイルが数多く保存されていると、その分常時録画のファイルを保存できる領域が減少します。常時録画の保存領域を圧迫するほどファイルが保存されている場合は、大切なファイルをパソコンなどにコピーしてから、microSDメモリーカードから削除してください。	21
	動画ファイルの再生中に映像が乱れる		
		一時停止中に頭出しをした。 ●動画ファイルには問題はありません。 映像を詳細に確認する場合には、パソコンアプリDR Video Viewerの使用をおすすめします。	24
	リヤカメラの映像が録画できない		
		ドライブレコーダータイプが「前のみ」に設定されている。 ●ドライブレコーダータイプを「前後」に設定しなおしてください。	12
	車のエンジンをかけたときに (ACC ON)、駐車録画のお知らせが表示されたが、映像に振動の原因となるものが映っていなかった		
		振動の原因が、ドライブレコーダーのカメラで映せる範囲外だった。 ●車両の周囲を確認してください。	—
	振動の原因が、すぐに車から離れた。 ●振動を感知してから撮影するため、振動発生の瞬間は撮影できません。	—	
映 像	映像が白っぽい、映像に白線(光の線)が出る		
		太陽光を直接映したり、強い光(ヘッドライトなど)を映している。 ●映像が見えにくくなったり、光源の周囲に明るい線が現れることがあります。 故障ではありません。	—
	映像が見えにくい		
		暗いところを映したり、部分的に明るい光を映している。 ●故障ではありません。	—
		カメラのレンズ、車のガラスが汚れている。 ●汚れを拭いてください。	—
	カメラのレンズ、車のガラスが結露している。 ●ヒーターなどで車内を適温に保ち、結露が取り除かれるまでしばらくお待ちください。	—	

万一、故障や異常が起これたら

車を安全な場所に停車させて電源を切り、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は、絶対におやめください。
故障や異常の状況は、できるだけ具体的にご連絡ください。

仕 様

電源	
電源電圧	DC12 V マイナスアース
消費電流	450 mA
消費電力	5.4 W
ドライブレコーダー本体	
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	70 mm × 22 mm × 100 mm
質量	約124 g
推奨動作温度	-20℃ ~ +65℃
記録メディア	microSDHCメモリーカード(Class10以上の8 GB ~ 32 GB) microSDXCメモリーカード(Class10以上の64 GB ~ 128 GB)
記録形式	映 像: H.264 音 声: PCM、モノラル
ファイルフォーマット	動 画: MP4 静 止 画: JPEG
フロントカメラ/リヤカメラ	
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	36 mm × 63 mm × 42 mm
質量	約63 g
推奨動作温度	-20℃ ~ +65℃
撮像素子	C-MOS
有効画素数	約200万画素
解像度(動画・静止画)	1 920 × 1 080
フレームレート	高 画 質: 28 fps (駐車録画の場合は14 fps) 標準画質: 14 fps
画角	水 平: 117° 垂 直: 63°

- 寸法・質量はおおよその数値です。

商標などについて

- microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft, Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・ 画像情報をAVC規格に準拠して(AVCビデオ)を記録すること。
 - ・ 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品の説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。



保証とアフターサービス

よくお読みください

修理のご依頼や、お取り扱い・お手入れ、その他ご不明の点などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼するときは

まず、「故障かな!?(P.28～29)をご覧ください、お確かめください。

処置をしてもなおらないときは、ご使用を中止して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容
● 製品名：ドライブレコーダー (別体型ナビ連動タイプ、前方・後方録画用)
● 品番：CA-DRZ3TDZ ※「純正品番」もご確認ください。
● お取り付け車両名

- 保証期間中は、保証書の記載内容に従って修理させていただきます。おそれ入りますが、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

- 保証書

「お取り付け日・販売店名」などの必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、説明書とともに大切に保管してください。

- 保証期間終了後は、診断して修理できる場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

- 補修用性能部品の保有期間 **6年**

当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年保有しています。

仕
様
／
商
標
な
ど
に
つ
い
て

必
要
な
と
き

保
証
と
ア
フ
タ
ー
サ
ー
ビ
ス

パナソニック お客様ご相談センター

電話



フリーダイヤル コー パナソニック

0120-50-8729

■上記番号をご利用いただけない場合

045-929-0511 (有料)

受付時間 9:00～17:00 (年中無休)

FAX (有料)

045-938-1573

受付時間 9:00～17:00

(土・日・祝日・当社休日を除く)

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の お取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

- ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。
- 上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

おぼえのため、記入されると便利です。

製造番号 (Serial No.)	万一の故障や盗難時に必要です。ドライブレコーダー本体の裏面にある製品銘板で、9桁の番号をご確認ください。 ()
------------------------------	---

製造元

パナソニック株式会社 オートモーティブ社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地